

整理番号 No	科目名 Course Name	学期 Term	配当年次・単位 Student Year(s)・Credit(s)	担当教員 Professor
111	政治学演習 (田中孝彦)	通年	3年以上：4単位	田中 孝彦 政政・経演・国演

副題  
Subtitle

世界政治秩序の歴史的変容と現在

授業概要  
Course Description

このゼミでは、第二次世界大戦後の「冷戦」とよばれた時代から今日にかけて、世界政治がどのように変化してきたのかについて、分析を試みる。まず最初の学期では、アメリカの大学で評判の高い入門的な教科書を読み、国際政治の理論と歴史についての基礎知識と分析の方法を学ぶ。次に、冷戦時代の国際政治の歴史的展開について書かれた教科書と、重要な論点についての定評のある新しい研究論文と一緒に読み進めながら、冷戦時代の国際政治の変容過程について、理解を深める。最後に、冷戦の終焉から今日までの世界秩序のあり方についての論文を数本読むことを通じて、現在我々がどのような世界に生きており、今後どのような世界秩序が形成されるのかについて、考察を試みる。なお、夏と春に合宿を行い、現在の国際政治上の事象についての、定評のある論文を読みすすめる。また、各授業においては、できるかぎりアメリカやイギリス、そして日本の公開された機密文書の史料を読む。

授業の到達目標  
Objectives

国際政治学について考察する際に必要不可欠で基本的な概念についての知識を、習得する。

理論的な分析方法と歴史的な分析方法の両方を用いて国際政治の現象を理解することできるようにする。

冷戦の時代から今日までの国際政治の変化を読み解くことで、現在の国際政治に対する主体的な判断ができるような人材となる。

授業計画  
Course Schedule

- 第1回：オリエンテーション
- 第2回：国際政治学の基礎（1）：現実主義とリベラリズム
- 第3回：国際政治学の基礎（2）：戦争はなぜ起こるのか
- 第4回：国際政治学の基礎（3）：第一次世界大戦の起源
- 第5回：国際政治学の基礎（4）：第二次世界大戦の起源
- 第6回：国際政治学の基礎（5）：冷戦とは何だったのか
- 第7回：国際政治学の基礎（6）：冷戦後の紛争
- 第8回：国際政治学の基礎（7）：グローバル化と相互依存の国際政治
- 第9回：国際政治学の基礎（8）：脱国家主体の台頭
- 第10回：国際政治学の基礎（9）：冷戦後国際秩序
- 第11回：冷戦期国際政治史（1）：なぜ冷戦を学ぶのか
- 第12回：冷戦期国際政治史（2）：冷戦史研究の視点
- 第13回：冷戦期国際政治史（3）：冷戦開始の前提条件 1
- 第14回：冷戦期国際政治史（4）：冷戦開始の前提条件 2
- 第15回：冷戦期国際政治史（5）：冷戦の起源（欧州）1
- 第16回：冷戦期国際政治史（6）：冷戦の起源（欧州）2
- 第17回：冷戦期国際政治史（7）：冷戦期におけるアジア国際政治 1
- 第18回：冷戦期国際政治史（8）：冷戦期におけるアジア国際政治 2
- 第19回：冷戦期国際政治史（9）：冷戦の変容と拡大 1
- 第20回：冷戦期国際政治史（10）：冷戦の変容と拡大 2
- 第21回：冷戦期国際政治史（11）：人類滅亡の危機から緊張緩和へ 1
- 第22回：冷戦期国際政治史（12）：人類滅亡の危機から緊張緩和へ 2
- 第23回：冷戦期国際政治史（13）：冷戦と社会変動 1
- 第24回：冷戦期国際政治史（14）：冷戦と社会変動 2
- 第25回：冷戦期国際政治史（15）：冷戦と社会変動 3
- 第26回：冷戦期国際政治史（16）：緊張緩和の進展と挫折 1
- 第27回：冷戦期国際政治史（17）：緊張緩和の進展と挫折 2
- 第28回：冷戦期国際政治史（18）：冷戦の終焉 1
- 第29回：冷戦期国際政治史（19）：冷戦の終焉 2
- 第30回：冷戦期国際政治史（20）：冷戦の終焉 3

教科書  
Textbook(s)

- 1 . Joseph S. Nye, Jr. and David A. Welch, Understanding Global Conflict and Cooperation: An Introduction to Theory and History, Peason, 2010.
- 2 . Robert J. McMahon, The Cold War: A Very Short Introduction, OUP, 2003.
- 3 . Jussi Hanhimaki & Odd Arne Westad, The Cold War: A History in Documents and Eyewitness Accounts, OUP, 2003.
- 4 . G. John Ikenberry, After Victory: Institutions, Strategic Restraint, and the Rebuilding of Order after Major Wars, Princeton UP, 2001.
- 5 . Stanley Hoffmann, Chaos and Violence: What Globalization, Failed States, and Terrorism Mean for U.S. Foreign Policy, Brown & Littlefield, 2006.

参考文献  
Reference Book(s)

授業中に適宜紹介する。

評価方法  
Evaluation

	割合 (%) Percent (%)	評価基準 Description
試験 Examination(s)	%	試験は行わない。
レポート Report(s)	20 %	年に数回提出を要求する。全提出が前提。
平常点評価 Class Participation	80 %	担当の報告の内容と、授業中の討議でのパフォーマンスの質と量から判断する。
その他 Other	%	

備考  
Note

- 1 . 上記の授業計画に加えて、夏合宿を行い、時事的な問題についての論文などを読み議論します。スポーツもやります。就活などによって困難ではありますが、春または冬合宿も計画しています。授業の補完をし、スキーもやります。
- 2 . 前向きで熱意のある人、チャレンジ精神旺盛な人、来たれ。
- 3 . なお、英語の文献をたくさん読みますが、はじめの半年をクリアすれば、すぐに慣れます。1時間に10ページは読めるようになります。ひるまずにチャレンジしてください。

関連URL  
URLs for References

授業初回または説明会（開催予定）の際に、お知らせします。